

事務事業名 生涯学習振興計画策定推進事業

政策:05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策:02 生涯学習の推進

基本事業:99 施策の総合推進

部名:教育部

課名:生涯学習課

計画年度	平成21年度	～	平成25年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民				概要 本計画は、『山武市総合計画』に示された基本理念や将来像を基に、本市の生涯学習の将来像と、その実現に必要な施策の方向性を示し、生涯学習の推進を総合的かつ計画的に実施するための基本指針となるもので、計画の構成・期間は、基本構想（21年度～30年度）、基本計画（21年度～25年度）としますが、社会情勢の変化などに対応し、必要に応じ見直しを行う。 今後の予定 1.生涯学習の総合的な計画を策定する。 2.社会教育委員会等から計画案について意見を聴取する。 3.計画書の製本 21年度（500部）							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
市民の生涯学習が推進される。 市民のニーズを踏まえた生涯学習の取組みが明確になる。											
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標	計画案に対する意見の聴取回数（社会教育委員会、教育委員会、パブリックコメント等）			回	2	3	1	-			
活動指標											
成果指標	実現された計画項目の割合			%	90	92	94	-			
成果指標											
事業費				千円	0	364	0				
うち一般財源				千円	0	364	0				
5 目的妥当性											
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				市民が生涯にわたって豊かな人生を送るための生涯学習活動を推進するための事業であるため、行政として進める必要があります。							
6 上位の基本事業への貢献度											
○ 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ● 基礎的事務事業				基礎的事務事業							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				生涯学習は、市民全体ひとりひとりの自己向上課題です。							
8 有効性（成果状況）											
● あがっている ○ どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				H 2 2 年 2 月に策定された。周知を図るためにダイジェスト版を市内の全世帯に配布した。							
9 有効性（成果向上余地）											
○ 成果向上余地・大 ○ 成果向上余地・中 ● 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
○ 類似の事業があり、再編成できる ● 類似の事業はあるが、再編成できない ○ 類似の事業はない				ほとんどの自治体で策定されている。 山武郡内では、東金市、大網白里町、九十九里町で策定されている。							
11 効率性（コスト削減の方法）											
○ ある ● ない				ない							